

読売新聞 きょう（9月14日）のイチ押し

一面 ウクライナ軍、東・南東部6000平方キロを解放

ウクライナのゼレンスキー大統領はビデオ演説し、ロシアの侵略に反転攻勢に出ているウクライナ軍が9月初旬以降、「東部と南部の6000平方キロ・メートルを解放した」と明らかにしました。ロイター通信によると、米軍高官は、東部ハルキウ周辺から撤退した露軍がロシア側に越境したとの見方を示しました。露軍に動揺が広がっていると見られます。

- ★ウクライナ軍は2週間足らずの期間で、広大な領土を奪還したことになります。ゼレンスキー氏は「我々の軍の展開は続いている」と強調しました。
- ★米軍高官は、露軍がハルキウ周辺から装備を置き去りにして撤退したとの見方も示し、「ロシアの混乱した指揮と統制を示している可能性がある」と指摘。米国の政策研究機関も、ウクライナ軍の反攻が「露軍の士気や軍事的な能力に重大な影響を与え続けている」との認識を示しています。

一面・運動面など ヤクルト・村上が55号本塁打

プロ野球・東京ヤクルトスワローズの村上宗隆選手（22）が、神宮球場での巨人軍戦で、1964年に王貞治氏（巨人）が記録した日本選手最多のシーズン55本塁打に並びました。22歳7か月は王氏の24歳4か月を抜くプロ最年少で、55号はプロ野球史上5人目。四回、菅野投手からソロを放ち、九回に翁田投手から3ランを放って達成しました。

プロ野球シーズン最多記録は2013年のバレンティン氏（ヤクルト）の60本塁打で、チームは15試合を残しています。村上選手は「すごく光栄ですし、本当にうれしいこと」と喜びました。王さんは、次の村上選手の目標となる60本塁打について「夢じゃない」とエールを送りました。

他紙と比べて

関西経済面「NEWS 潮流深層」は、「地方路線提言どう考える」がテーマ。国交省の有識会議が赤字ローカル線について、国と自治体、鉄道会社が存続を協議する枠組みを創設するようにまとめたことの狙いや評価について、有識会議座長の竹内健蔵・東京女子大教授、オブザーバーとして会議に参加した広島県・湯崎英彦知事と近江鉄道・飯田則昭社長が、それぞれの立場から考えを示しています。本紙は、社会的な問題となっているローカル線の行方を、皆さんと共に考えていきます。